

## 大阪 IR カジノ計画案に関する「陳情書」

正式には「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画」(案)に関する陳情書である。昨日、市会都市経済委員会で審議され、議会事務局に確認すると「引き続き審査」となったようだ。委員会審議にも関わる陳情書を住所など削除して掲載する。

昨年 12 月 21 日の戦略会議で、「IR 事業用地の適性確保について 大阪市負担の考え方及び概算負担額、負担の枠組み等」が決定されました。大阪市が IR カジノ事業用地対策費として、約 790 億円を負担するのは夢洲など埋立地で前例のない財政措置です。私も参加した「IR 説明会」で、夢洲の土地対策費による港営事業会計の悪化について質問があり、12 月 8 日開催の大阪市大規模事業リスク管理会議で確認されているとの回答がありました。リスク管理会議に港湾局から提出された夢洲土地造成事業の収支見込み(土地関連費用 1578 億円を含む)を見ると、今から 54 年後の 2076 年度以降に累積資金残高はプラスに転じるとしています。それまでは厳しい状況が続き、港営事業会計は急激に悪化して、一般会計からの「対応」が不可避となります。

昨年 2 月 12 日に開催された戦略会議要旨には、「土地契約関係等の事業条件を修正・追加した実施方針(修正案)を決定した」などと書かれています。戦略会議は、会議要旨の後に「議論内容」が掲載されていますが、この日の会議にはありません。市民に公開できない議論内容があるのでしょうか。修正案では次の 5 行が付け加えられました。

「なお、IR 施設を整備するに当たり支障となる地中障害物及び土壌汚染等に起因して設置運営事業者の負担が増加すると見込まれる場合は、設置運営事業者の施設計画や施工計画等を踏まえ、対応方法等について事前に協議の上、大阪市の設計・積算基準等により、大阪市が当該増加負担のうち妥当と認める額を負担するものとする。詳細については、募集要項等において示す。」

3 月 19 日「大阪・夢洲地区特定複合観光施設設置運営事業募集要項」修正版が公表されますが、上記修正がなされています。問題はなぜ 2 月 12 日の戦略会議で、大阪市が IR カジノ土地関連費用を負担すると異例の決定をしたかです。夢洲用地について、事業運営事業者である MGM 日本法人・オリックスと協議が続けられており、何らかの「圧力」があったのではないか。整備に関する計画案では「公正・公平な公募手続き」を掲げていますが、それに反するような「決定」が戦略会議で行われたのではないか。

IR カジノ用地のために、790 億円もの公費を投入する異例の「決定」であり、大阪市の経緯を明らかにする必要があります。市会でも真摯な真相究明を求めます。

[陳情項目]

1. 夢洲の IR 用地「土地改良費」790 億円について、その経緯を明確にして、慎重に予算審議をすること。
2. 議員提案による住民投票を実施するなど、大阪市民の意見をきちんと聞くこと。

(2022 年 2 月 18 日)